

# 漁海況速報

## No.21

平成19年6月8日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ① 本県海域沖は先週より3℃程度昇温し、15~16℃台が広く分布している。
- ② 黒潮系暖水及び親潮系冷水の目立った波及傾向はみられない。
- ③ 定地水温は、小名浜・大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並。

#### 見通し(1週間)

- ・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年6月海洋観測結果

- ・6月4~7日に本県調査船「いわき丸」で行った海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測した水温の定線ごとの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	15.07	-2.51	-0.73
	富岡	15.34	-2.93	+0.16
	鵜ノ尾	15.71	-1.94	+0.90
	全体	15.38	-2.46	+0.11
100m深	塩屋	8.39	-1.33	-0.35
	富岡	8.58	-3.34	-0.16
	鵜ノ尾	9.73	-0.19	+1.95
	全体	8.79	-1.72	+0.29

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・親潮由来とみられる低温・低塩分な水塊の波及範囲は先月より狭まり、本県沖50~60海里付近の50m以深にみられる程度でした。黒潮系暖水の波及は本県沖20~30海里付近にみられますがその勢力も目立って強くなく、本県沖50海里までの平均水温は平年並でした。

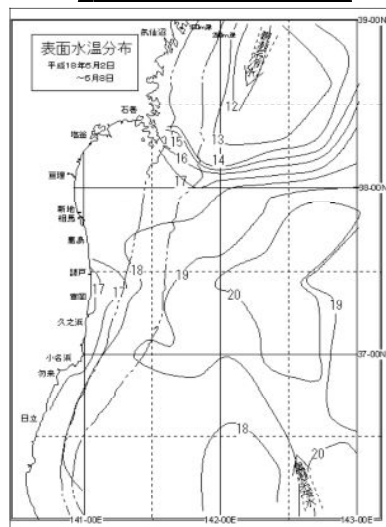
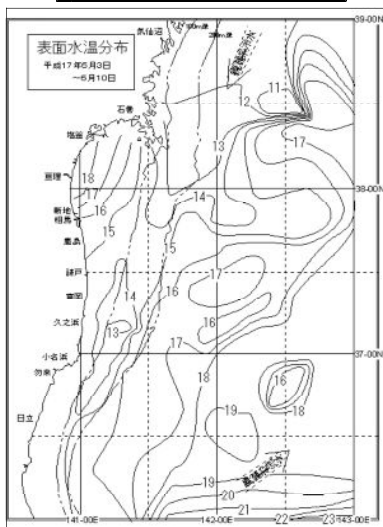
#### 平成17年同期

#### 平成18年同期

#### 定地・定点水温の推移(℃)

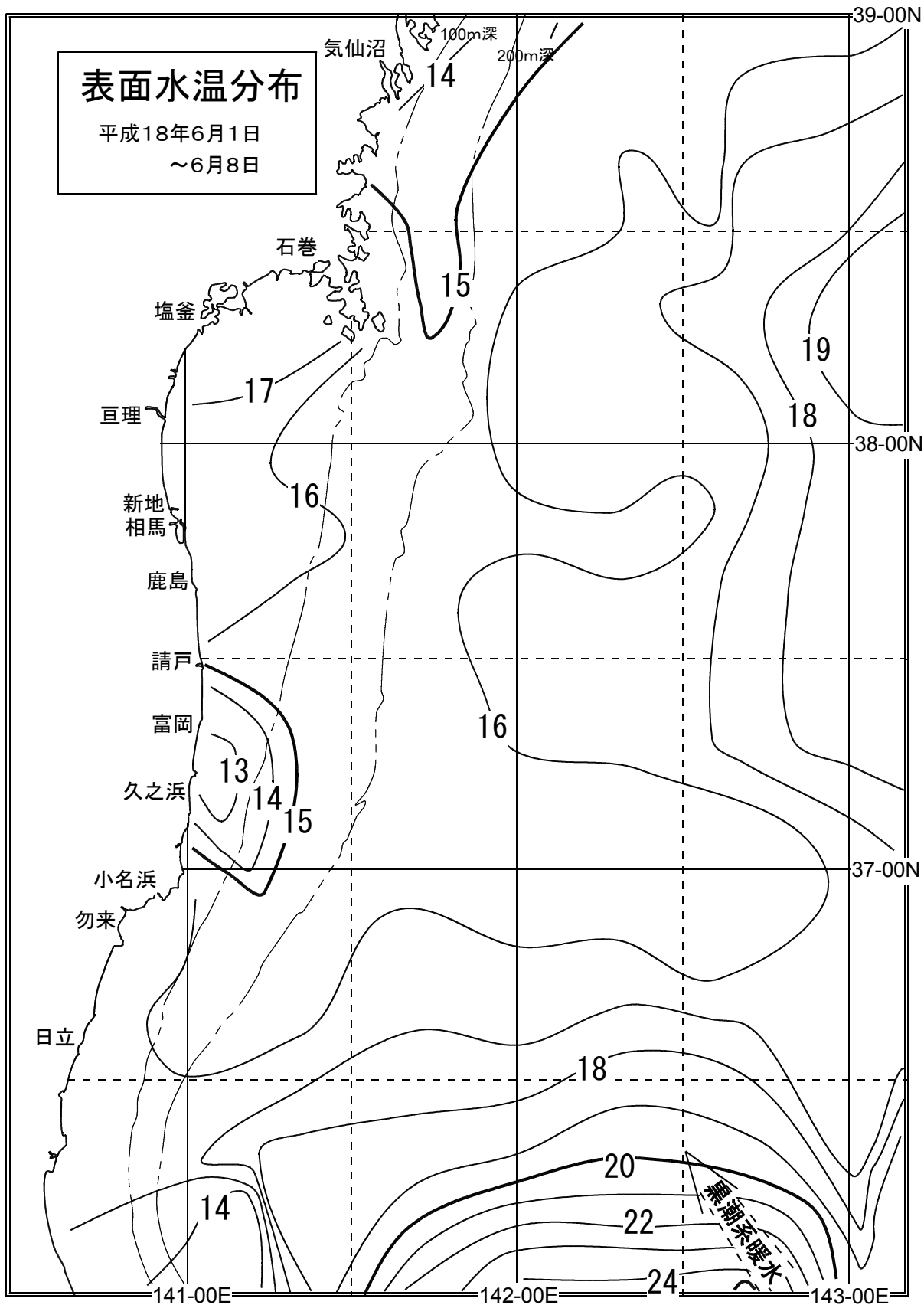
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/1	14.5	15.2	17.9	12.5
6/4	15.2	15.5	18.3	14.3
6/5	16.4	15.1	17.4	14.2
6/6	15.8	12.7	17.3	13.8
6/7	14.4	12.8	18.3	14.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



# 表面水温分布

平成18年6月1日  
~6月8日



# 漁海況速報

## No.22

平成19年6月15日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ① 本県海域沖は先週より2℃程度昇温し、16～19℃台が広く分布している。
- ② 黒潮系暖水及び親潮系冷水の目立った波及傾向はみられない。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年より1℃、松川浦は3℃高く、大熊は平年並。

#### 見通し(1週間)

- ・ 現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年度東北海区海況予報第2回

((独)水産総合研究センター北海道区水産研究所とりまとめ、6月15日発表)

<<今後の見通し(2007年6月下旬～7月中旬)>>

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏 (35°20'N～36°20'N) で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや北偏に推移する。
- (3) 金華山沖、鮫角沖の暖水塊は持続する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、かなり北偏 (41°N～42°Nまで) で推移し、三陸～常磐近海に冷水域が残る。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並 (142°50'E付近まで) で推移する。

<<福島県海域の今後の見通し(2007年6月下旬～7月中旬)>>

期間を通して親潮由来とみられる低温・低塩分の水塊の分布が継続するが、黒潮続流の流路変動に伴い、本県沖に一時的に黒潮系暖水の波及がみられる場合もあると予測される。

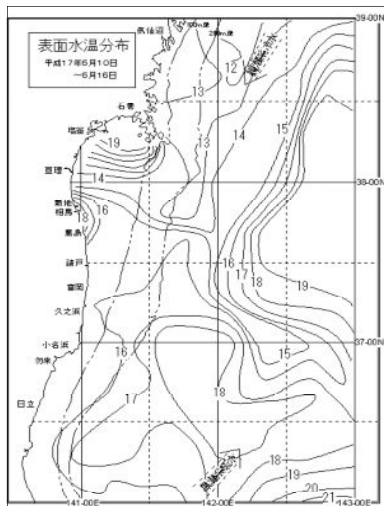
本県沿岸域の水温は平年並で推移すると予測される。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

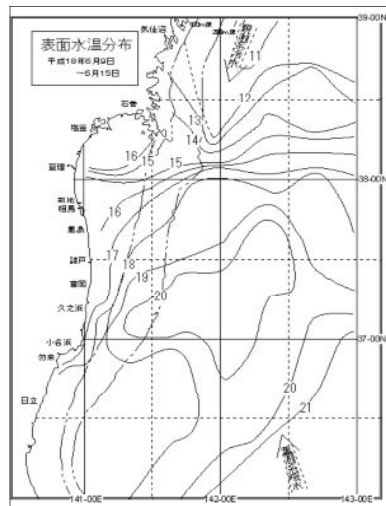
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/8	14.5	13.8	18.5	13.7
6/11	14.5	15.8	18.3	14.9
6/12	16.0	16.0	20.8	15.3
6/13	17.4	15.6	23.0	14.0
6/14	17.0	14.0	22.8	15.7

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

#### 平成17年同期

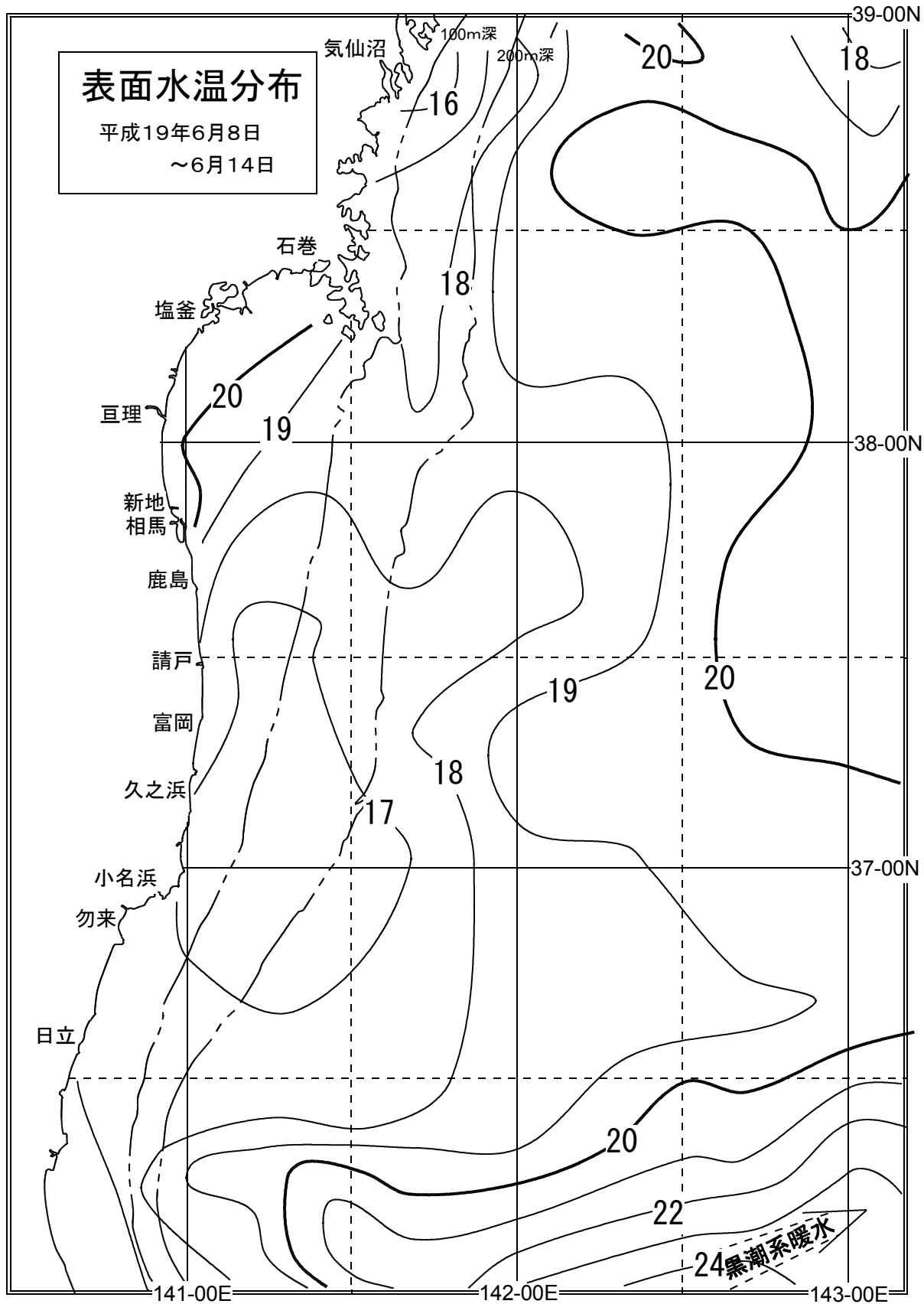


#### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年6月8日  
~6月14日



# 漁海況速報

## No.23

平成19年6月22日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ① 本県海域沖は先週より1℃程度昇温し、17～19℃台が広く分布している。
- ② 本県南部海域沖に南からの黒潮系暖水の波及傾向がみられ、30～70海里沖付近に20℃台が分布している。
- ③ 定地水温は、小名浜・松川浦は平年より1℃高く、大熊は平年並。

#### 見通し(1週間)

- ・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/15	16.1	12.6	19.6	16.5
6/18	16.4	16.5	20.3	15.9
6/19	17.1	16.4	20.4	17.0
6/20	16.7	18.5	19.4	17.2
6/21	16.7	16.9	19.4	17.7

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

#### 平成19年度カツオ長期来遊資源動向予測(6～11月)

((独)水産総合研究センターとりまとめ、水産庁発表)

見通し: 平年を下回る水準で来遊し、秋には体長51cm前後の魚群が中心

一來遊資源量一

常磐・三陸沖への来遊資源量は過去10年の平均値を下回ると予測された。

一魚体一

6月上旬現在、体長45cm前後(体重1.8kg前後)の魚群が来遊資源の中心となっており、過去の体長組成の季節的な推移から、南下する秋には体長51cm前後・体重3kgを超える個体が中心になると考えられる。

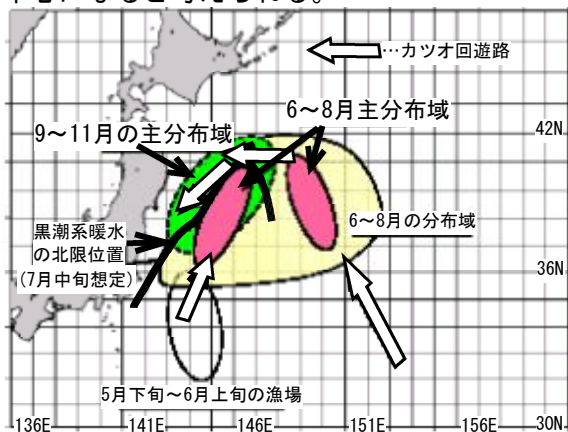
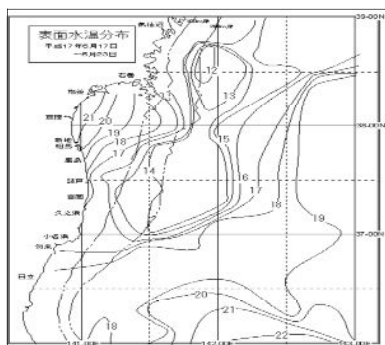
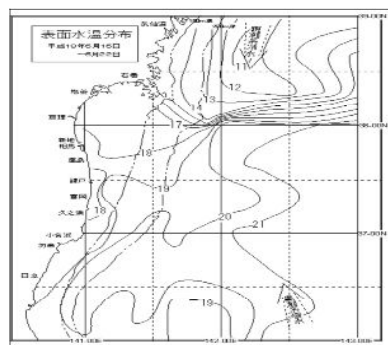


図 6～8月(北上期)及び9～11月(南下期)における主分布域

平成17年同期

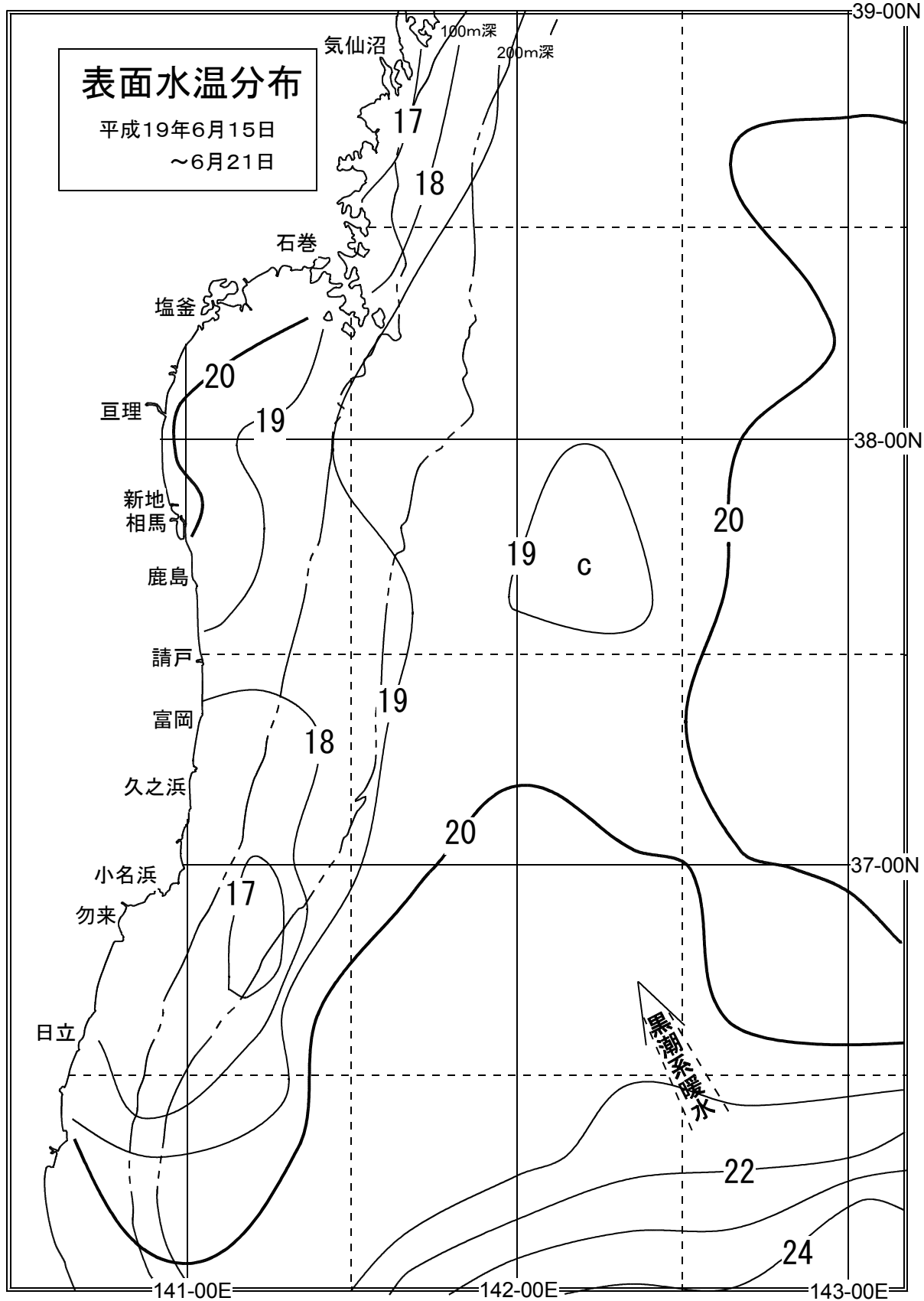


平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年6月15日  
~6月21日



# 漁海況速報

## No.24

平成19年6月29日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

① 本県海域沖は先週より1℃程度昇温し、18~21℃台が広く分布している。

② 沖合から黒潮系暖水の波及傾向がみられ、本県沖中南部海域沖の30海里より灘側以外は広く20~21℃台が分布した。

③ 定地水温は、小名浜は平年より1℃、松川浦は2℃高く、大熊は平年並。

#### 見通し(1週間)

・ 沖合からの暖水波及により水温は昇温傾向で推移するでしょう。

#### 漁況情報(ホッキ貝)

・ 6月27日までのホッキ貝の水揚げ状況は以下の表のとおりでした。

		数量(kg)	金額(円)	単価(円/kg)
平成19年	いわき	63,852	13,521	212
	相双	62,963	19,021	302
	合計	126,815	32,542	257
平成18年	いわき	56,621	15,392	272
	相双	58,401	20,216	346
	合計	115,022	35,608	310
昨年比	いわき	112.8%	87.8%	77.9%
	相双	107.8%	94.1%	87.3%
	合計	110.3%	91.4%	82.9%

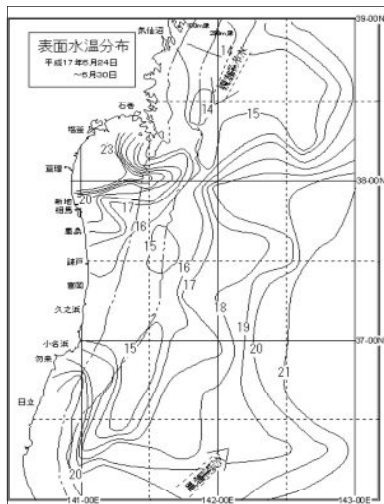
・ 昨年、相双地区で漁獲され始めた平成15年生まれの若い小型の貝が、いわき地区でも多く水揚げされるようになったため、水揚げ数量は昨年よりもやや多くなり、単価は昨年より低くなっています。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

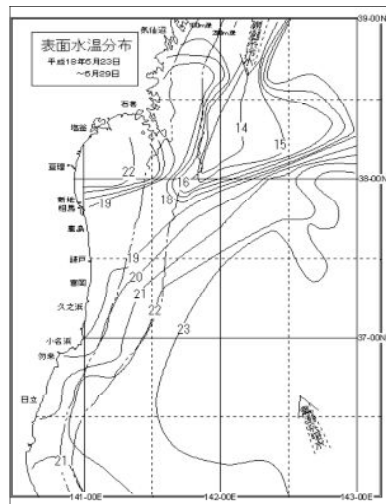
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/22	16.4	16.3	18.9	17.9
6/25	17.9	17.3	19.1	19.6
6/26	17.4	17.0	19.4	19.6
6/27	17.6	16.8	21.3	20.3
6/28	18.8	17.7	22.9	20.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

#### 平成17年同期

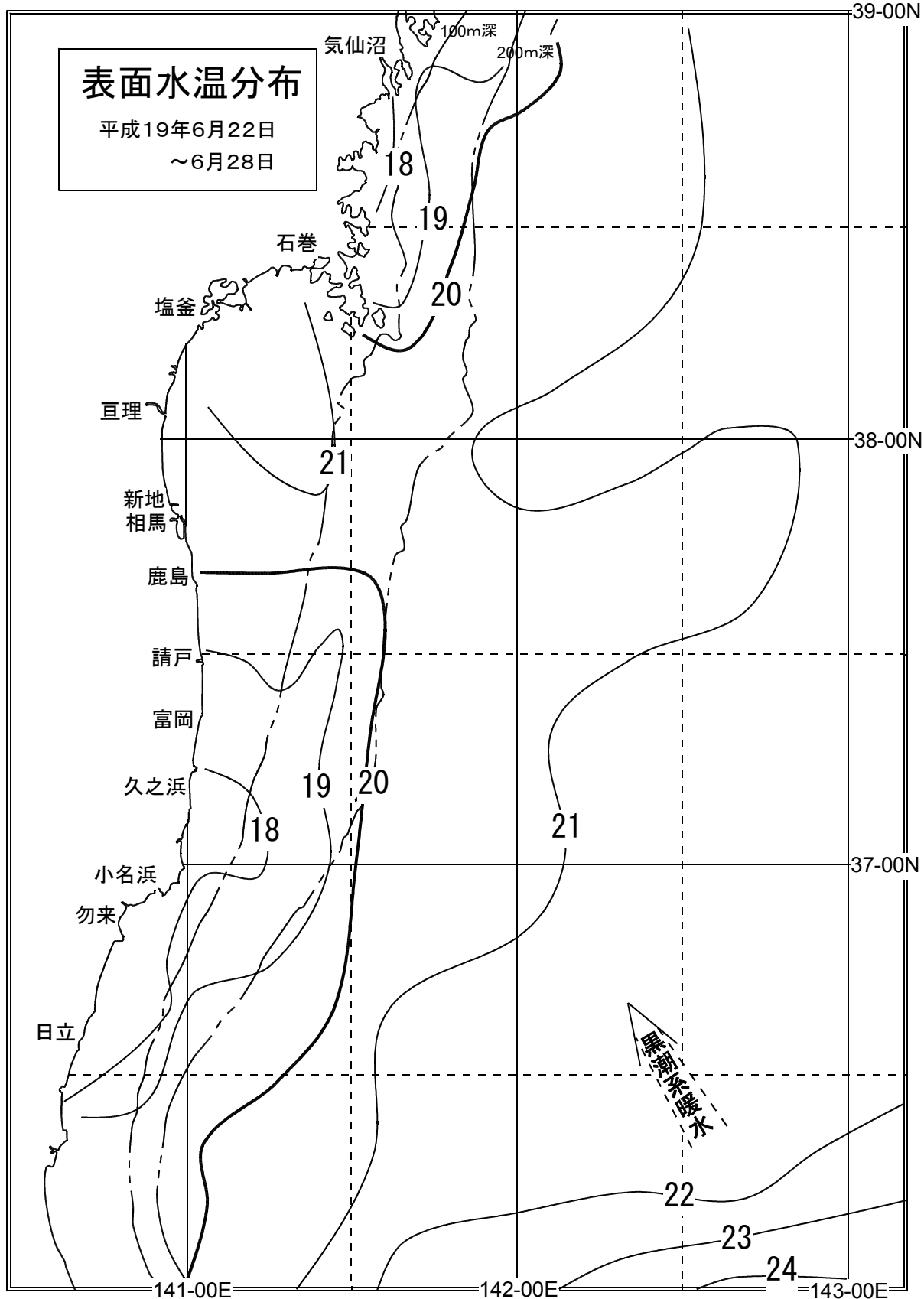


#### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年6月22日  
~6月28日





# 漁海況速報

# No.25

平成19年7月6日発行

## 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

### 海況(表面)

- ① 本県中南部海域沖30海里までの水温は先週より1℃程度昇温し、19～20℃台が分布した。
- ② 沖合および南から黒潮系暖水の波及傾向がみられ、本県海域沖は広く20～21℃台が分布した。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年より2℃、松川浦・大熊は1℃高い。

### 見通し(1週間)

- ・ 沖合からの暖水波及により水温は昇温傾向で推移するでしょう。

### 漁況情報(カツオ)

- ・ 6月までの本県におけるカツオの水揚げ状況をお知らせします。
- ・ 6月の月間水揚げ数量は4,187トンで、6月までの累計水揚げ数量は5,746トンと、ともに平成11年以降最も多い数量を記録しました。
- ・ 7月上旬の水揚げでは、体重2.0～2.1kg、体長46cm程度のカツオがみられております。

表 カツオの本県への水揚げ状況(属地)

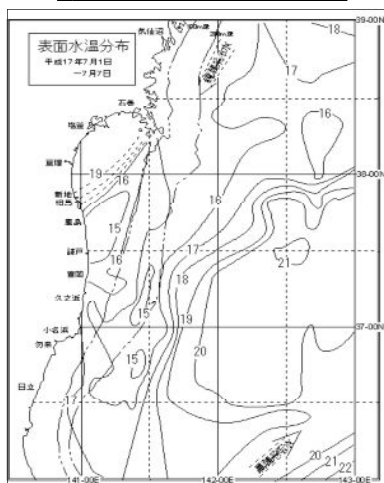
	6月の水揚げ		6月までの累計	
	水揚げ量(トン)	水揚げ金額(千円)	水揚げ量(トン)	水揚げ金額(千円)
平成9年	4,236	725,291	5,766	1,190,228
平成10年	5,662	1,266,295	7,748	1,964,680
平成11年	1,933	723,017	4,274	1,678,186
平成12年	2,865	410,014	4,798	820,362
平成13年	1,688	435,520	2,627	877,625
平成14年	1,933	713,771	2,122	856,116
平成15年	3,155	544,079	4,144	881,480
平成16年	2,149	694,401	3,365	1,331,612
平成17年	2,971	573,858	4,299	844,958
平成18年	2,949	821,535	3,456	1,100,132
平成19年	4,187	867,139	5,746	1,333,086
過去10年平均	2,954	690,778	4,260	1,154,538

### 定地・定点水温の推移(℃)

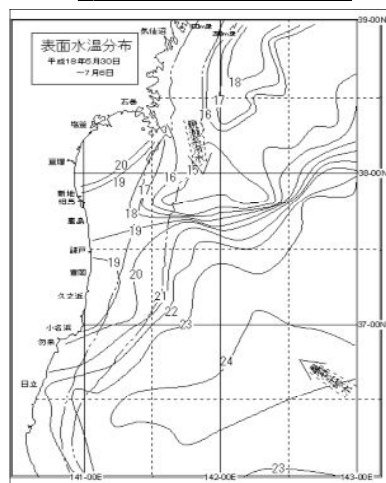
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/29	19.0	16.3	21.6	20.9
7/2	18.9	18.0	21.2	19.8
7/3	18.3	19.9	20.9	19.9
7/4	20.4	20.3	21.0	20.8
7/5	19.2	20.7	19.8	20.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

### 平成17年同期



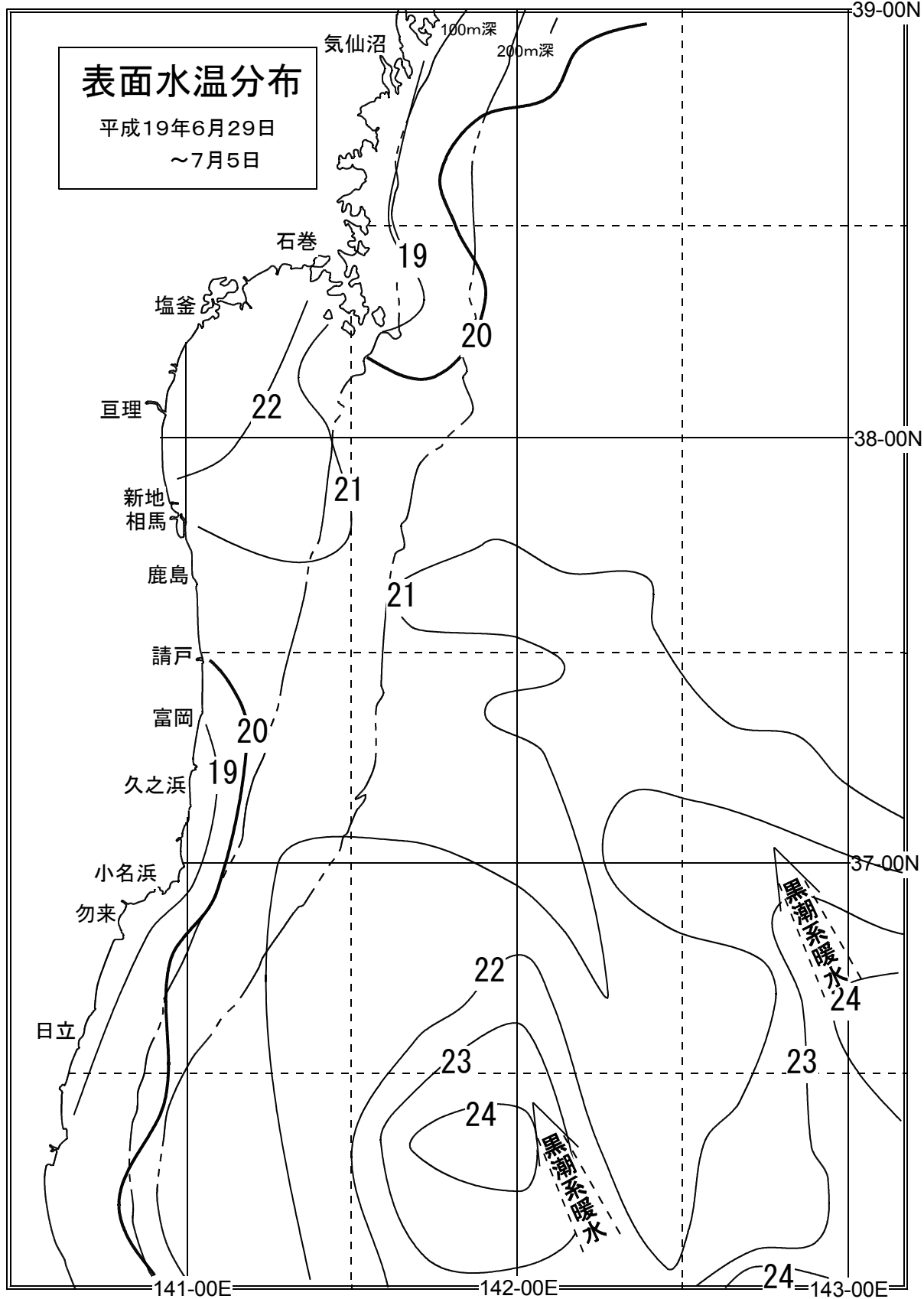
### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年6月29日

~7月5日



# 漁海況速報

## No.26

平成19年7月13日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ① 本県沖の水温は先週よりわずかに昇温し、21℃台が広く分布した。
- ② 沖合および南からの高水温な水塊の波及は、時化による混合で表面では目立たなくなった。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年より2℃、大熊は1℃高く、松川浦は平年並。

#### 見通し(1週間)

- ・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年7月海洋観測結果

- ・7月9～12日に本県調査船「いわき丸」で行いました海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測した水温の定線ごとの平均値とその平年・前年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	21.67	+0.67	+3.01
	富岡	21.09	+0.46	+2.60
	鵜ノ尾	21.31	+4.66	+2.80
	全体	21.36	+1.93	+2.80
100m深	塩屋	13.14	+1.19	+3.66
	富岡	13.67	+2.49	+4.49
	鵜ノ尾	12.84	+3.95	+3.22
	全体	13.24	+2.31	+3.83

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

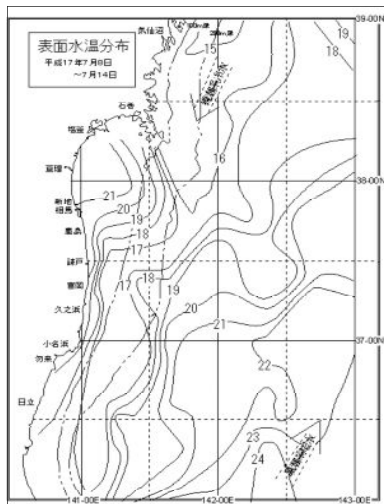
- ・6月下旬頃より南及び沖合からの強い暖水波及が継続し、本県海域ほぼ全域に及んだため、本県沖は広く平年より高め～極めて高めの水温が分布しました。しかし現況では、本県海域に黒潮続流由来の目立った強い流れはみられず、この波及傾向は収まる傾向にあると考えられます。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

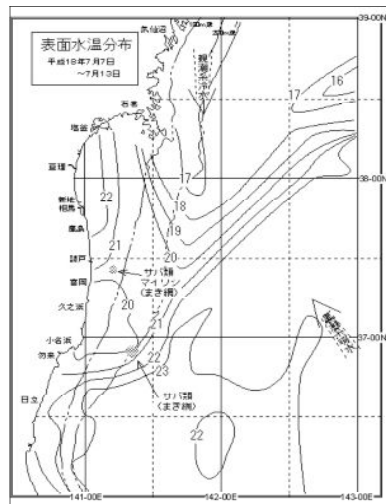
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/6	19.6	20.3	19.9	20.5
7/9	21.5	20.4	21.7	21.2
7/10	21.8	18.9	21.1	21.3
7/11	21.2	18.8	20.8	21.3
7/12	18.6	19.1	20.7	21.4

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

#### 平成17年同期

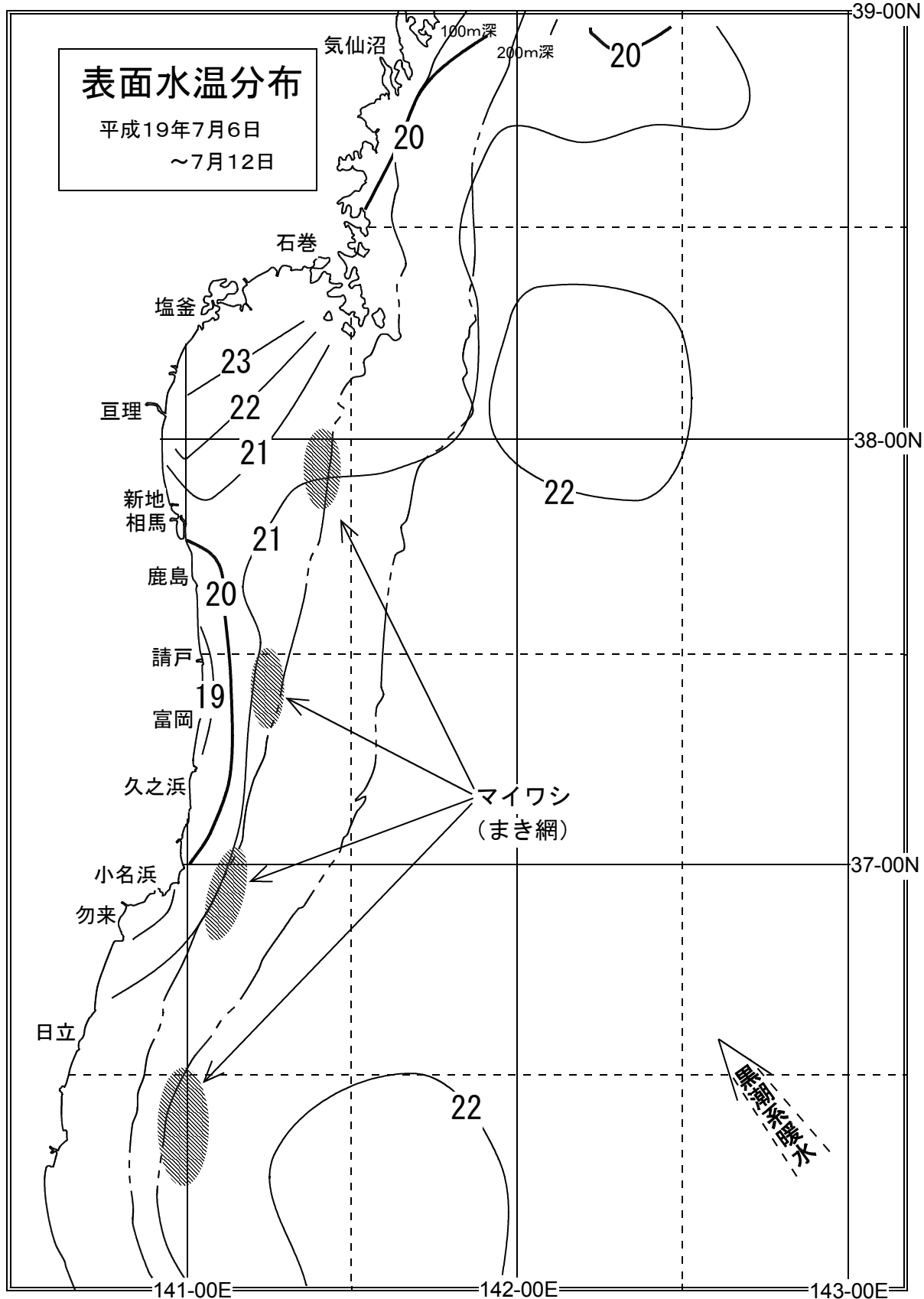


#### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年7月6日  
~7月12日



# 漁海況速報

## No.27

平成19年7月20日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ① 本県沖の水温は先週より1～2℃降温し、20℃台が広く分布した。
- ② 宮城県との県境付近沖80海里付近に北からの親潮系冷水の波及傾向がみられ、20℃未満の水温がみられる。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年より2℃、大熊は1℃高く、松川浦は平年並。

#### 見通し(1週間)

- ・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/13	19.2	18.7	21.1	21.5
7/16	—	—	—	20.5
7/17	21.2	21.0	18.8	20.5
7/18	20.5	21.4	19.0	20.6
7/19	20.7	20.7	19.7	20.8

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

#### 平成18年9月～平成19年6月の底びき網漁模様(速報値)

底びき網漁が2カ月の休漁に入りましたが、今漁期の漁模様についてお知らせします。

・今漁期の総漁獲量は約10,000トン、金額は約39億円で、ほぼ前漁期並でした。

・漁獲金額の上位種は下表のとおりで、1位ヤナギダコ(5.3億円)、2位ヒラメ(3.6億円)、3位マダラ(2.6億円)でした。

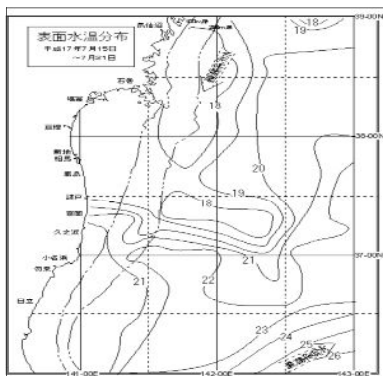
・漁獲量は、ヒラメ、アナゴ、メヒカリは前漁期より増加しましたが、マダラ、ナメタガレイは減少しました。

・増加したヒラメは、発生が良好であったH17年生まれが9月から本格的に漁獲され始め、前漁期に比べ360トンも増加しました。メヒカリは、H18年冬春季の水温がやや高めで経過したことから来遊量が増加し、漁獲量も増加しました。

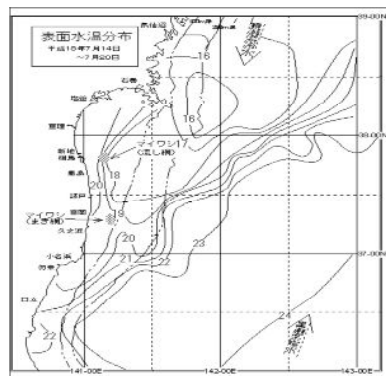
・マダラは、今漁期の主体となるH17年生まれがH16年生まれに比べやや少なかったことが漁獲量減少の1要因と考えられます。ナメタガレイは、前漁期のような大型魚(H13、14年生まれ)の集中漁獲がなく、後続群も少なかったことから漁獲量が減少しました。

順位	魚種名	漁獲金額 (億円)	漁獲量(トン)		対前期比 (%)
			今期 H18.09～H19.06	前期 H17.09～H18.06	
1	ヤナギダコ	5.3	1,941	1,783	109
2	ヒラメ	3.6	554	190	292
3	マダラ	2.6	1,101	1,477	75
4	マガレイ	2.3	686	697	98
5	アナゴ	2.0	353	277	128
6	メヒカリ	1.6	287	173	166
7	アンコウ	1.6	293	314	93
8	ヤナギムシガレイ	1.5	108	92	118
9	ナメタガレイ	1.4	156	292	53
10	ヤリイカ	1.3	251	275	91

#### 平成17年同期

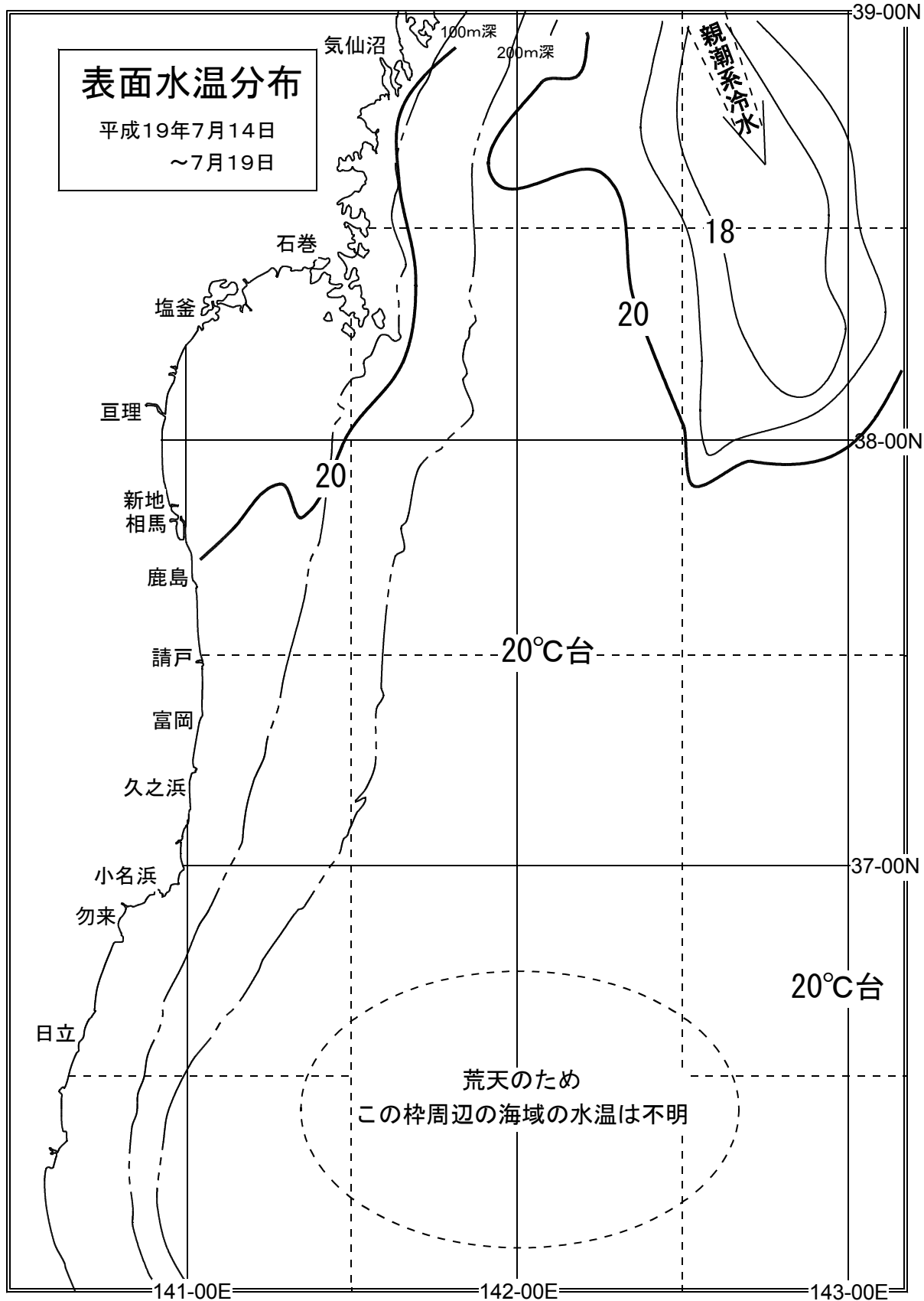


#### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年7月14日  
~7月19日



# 漁海況速報

## No.28

平成19年7月27日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

① 本県沖の水温は先週より1～2℃昇温し、21～22℃台が広く分布した。

② 北からの親潮系冷水の波及傾向はみられず、本県沖に目立った低水温はみられない。

③ 定地水温は、小名浜は平年より2℃、大熊は1℃高く、松川浦は平年並。

#### 見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

・7月26日、水産庁より発表されました標記予報の本県関係分についてお知らせします。(対象期間:2007年8月～12月)

##### 海況の見通し

(1) 潮岬以東の黒潮

・黒潮は、8～9月はB型流路、10～12月はC型流路となる。8月から蛇行の規模は大きくなり、期間中その規模が維持される。

・野島埼沖の黒潮は、8～9月は接岸傾向、10～12月はやや離岸傾向となる。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域の海況

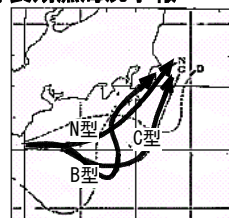
・大吠埼以北は「平年並み」～「高め」で推移する。ただし、親潮系冷水南下時に「極めて低め」となる。

##### 漁況の見通し(房総～道東(まき網, 定置網))

カタクチイワシ 来遊量: 前年を下回る。

マイワシ 来遊量: 漁獲の主体となる1歳魚は、前年同期を下回る。2歳魚も引き続き漁獲対象になる。12月以降0歳魚が未成魚越冬群として加わる。

サバ類 来遊量: マサバ0歳魚は前年を上回る。1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。マサバとしては前年を下回る。ゴマサバ0歳魚は前年を上回る。1歳魚は前年を下回る。2歳魚は前年を下回る。3歳魚は前年を上回る。ゴマサバとしては前年を下回る。サバ類全体として前年を下回る。



黒潮流型の分類図

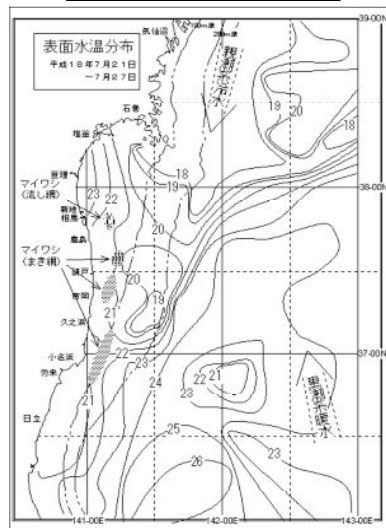
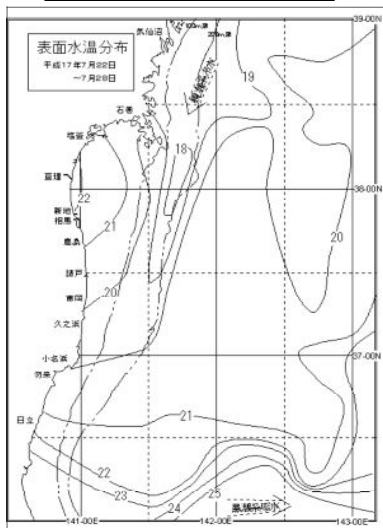
#### 平成17年同期

#### 平成18年同期

#### 定地・定点水温の推移(℃)

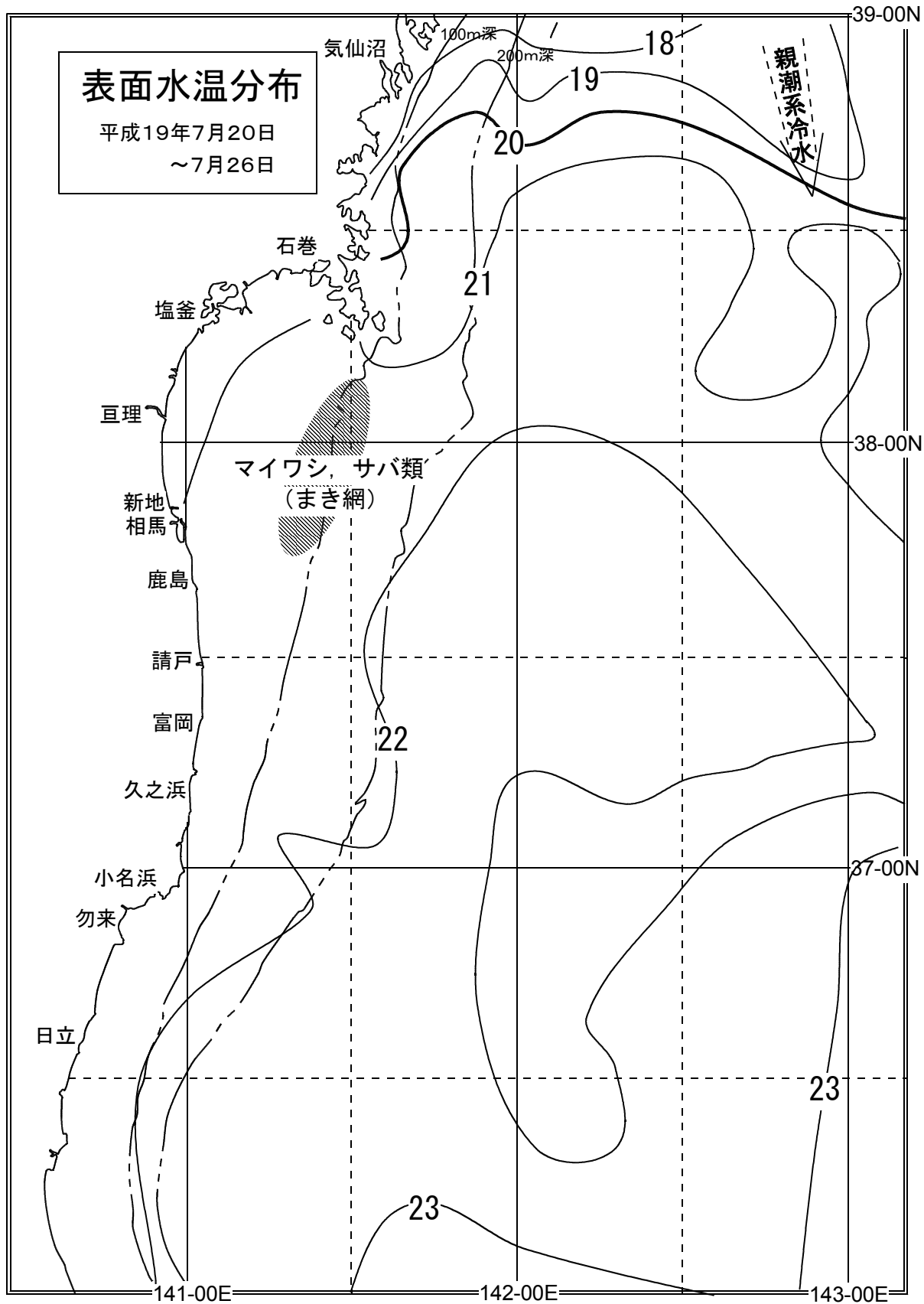
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/20	21.5	20.7	20.6	21.0
7/23	21.2	20.3	21.7	21.1
7/24	21.2	20.7	21.9	20.9
7/25	21.8	21.3	23.3	21.4
7/26	22.4	20.0	23.8	21.6

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)



# 表面水温分布

平成19年7月20日  
~7月26日





# 漁海況速報

## No.29

平成19年8月3日発行

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

- ①本県沖の水温は先週並だがやや昇温し、22℃台が広く分布した。
- ②本県沖に目立った低水温はみられない。
- ③定地水温は、小名浜は平年より3℃、大熊は2℃高く、松川浦は1℃高い。

#### 見通し(1週間)

- ・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年8月海洋観測結果

・7月31日～8月1日に、塩屋埼沖および鵜ノ尾埼沖にて本県調査船「いわき丸」で行いました海洋観測結果をお知らせします。

・観測した水温の定線ごとの平均値とその平年・前年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	22.49	+0.81	+0.25
	鵜ノ尾	22.74	+1.21	+0.69
	全体	22.61	+1.01	+0.47
100m深	塩屋	13.14	+0.03	+3.08
	鵜ノ尾	12.58	+1.28	+2.87
	全体	12.93	+0.50	+3.00

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

・6月下旬以降、本県沖は広く黒潮系暖水覆われています。しかし8月上旬に入りその勢力は僅かに衰え、表面付近の水温では平年並となりました。

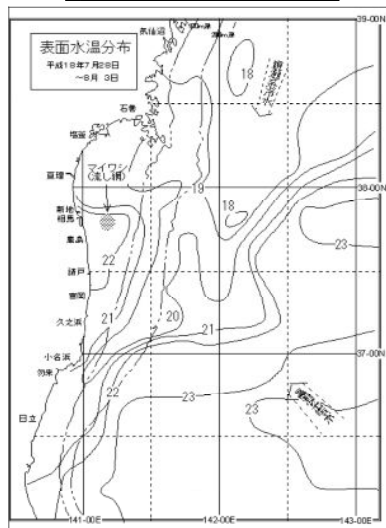
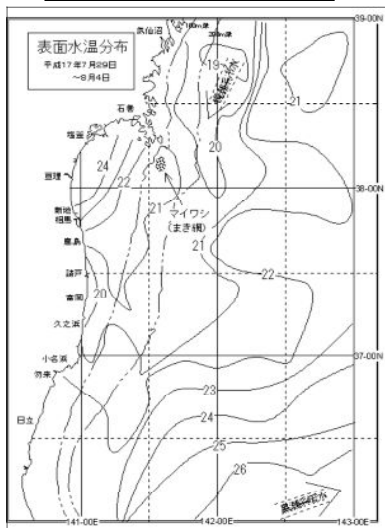
#### 平成17年同期

#### 平成18年同期

#### 定地・定点水温の推移(℃)

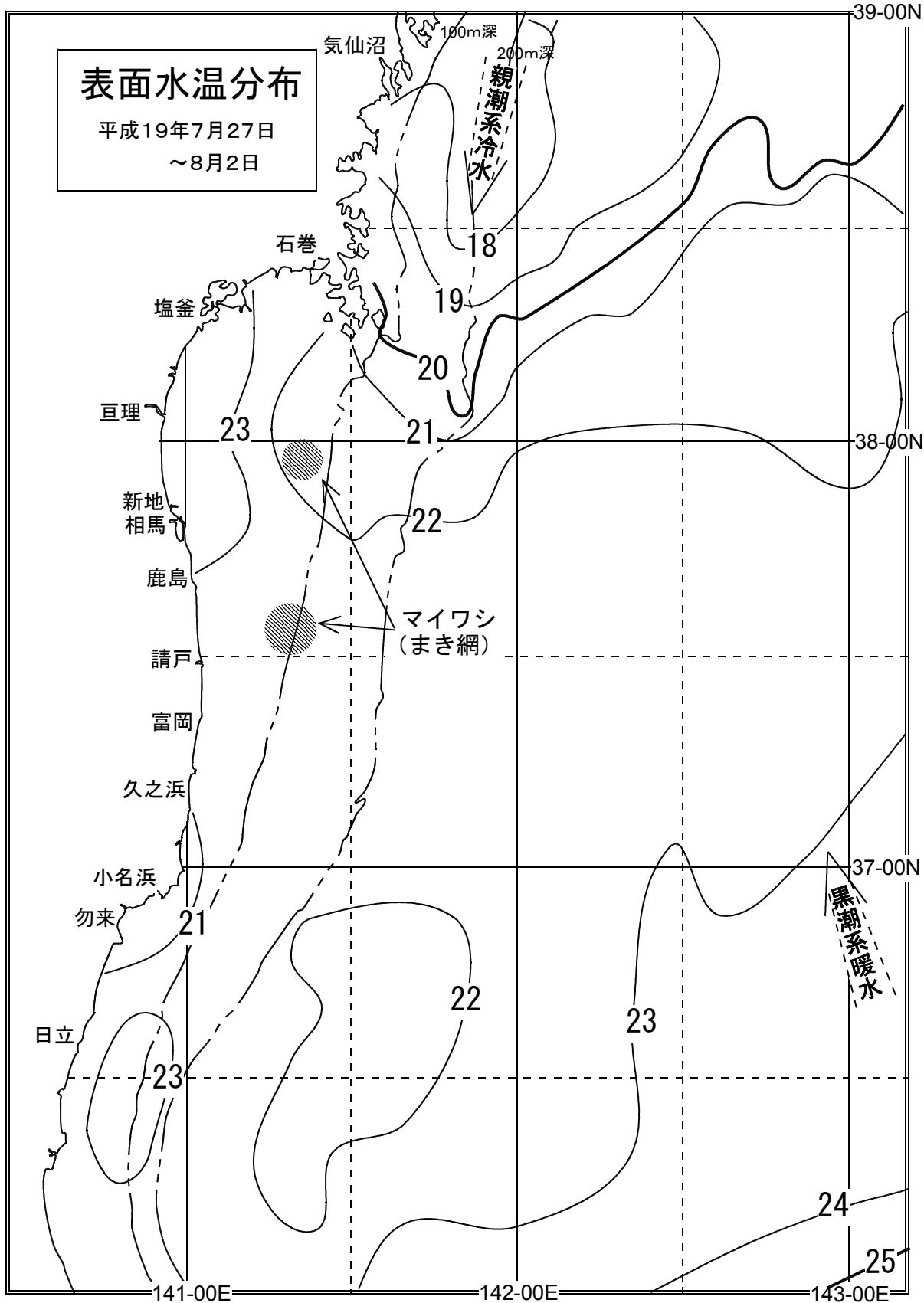
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/27	22.0	20.2	25.3	21.8
7/30	22.5	22.7	22.2	21.3
7/31	21.5	22.3	22.4	21.8
8/1	22.6	21.8	23.6	22.0
8/2	22.7	19.0	24.4	—

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)



# 表面水温分布

平成19年7月27日  
～8月2日



# 漁海況速報

## No.30

平成19年8月10日発行

※来週は休刊にて次回発行は8月24日です。

### 福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター ほか

#### 海況(表面)

①本県沖の水温は、距岸10~20より沖合では先週より2℃程度昇温し、24℃台が広く分布した。

②本県沖に目立った低水温はみられないが、北緯38度付近の距岸50~80海里付近に北からの親潮系冷水の波及傾向がみられる。

③定地水温は、小名浜は平年より2℃、松川浦は1℃高く、大熊は平年並。

#### 見通し(1週間)

・現状並の海況で推移するでしょう。

#### 平成19年度北西太平洋サンマ漁況予報・東北海道海況予報

・8月8日、東北区水産研究所とりまとめにより発表となりました標記予報をお知らせします。

対象海域:北西太平洋(道東沖から常磐沖)

対象漁業:サンマ棒受網

漁況:今後の見通し(2007年8月~12月)

- (1)来遊量:来遊量は昨年を下回る。
- (2)魚体:大型魚(29cm以上)の割合は昨年を下回る。
- (3)漁期・漁場:大型船出漁後の漁場は、道東沖~色丹島沖に形成される。三陸沖への南下時期は昨年並で、漁場形成は10月上旬になる。常磐沖での漁場形成は暖水域の影響により昨年より1旬ほど遅れ、11月上旬になる。

海況:今後の見通し(2007年9月~11月)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏~やや南偏(35°20'N~36°20'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3)下北半島沖および常磐沖の暖水塊は停滞する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並~やや北偏(40°30'N以北)で推移する。
- (5)親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢(143°30'E付近まで)で推移する。

一福島県海域の海況見通し一

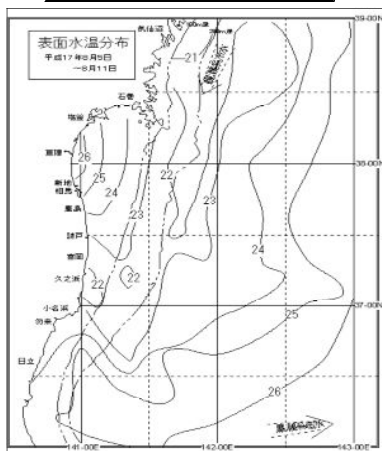
現状の、本県海域全域における水温の高め傾向は衰退してゆくものの8月まで継続する。期間後半の水温は平年並~やや高めとなり、冷・暖水の波及状況も平年並のものとなる。

#### 定地・定点水温の推移(℃)

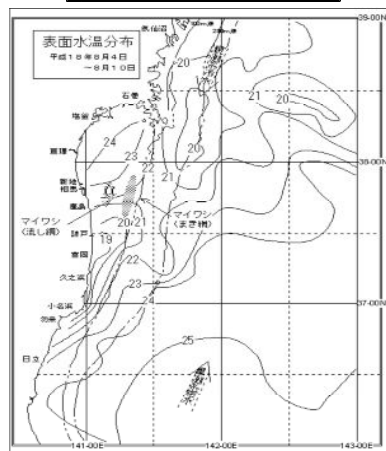
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
8/3	22.8	17.8	23.7	22.5
8/6	21.8	19.9	22.2	22.8
8/7	22.0	20.7	23.9	23.1
8/8	21.5	21.6	24.5	23.1
8/9	22.3	22.0	24.8	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

#### 平成17年同期



#### 平成18年同期



# 表面水温分布

平成19年8月3日  
~8月9日

